

よこすか育成通信

34号

2023年3月31日発行

題字：上地 克明 市長

●成績

総合	①北下浦B 222点 ②浦賀C ③衣笠A(若戸A同点ジャンケン)
ゲーム	北下浦B 57点 (浦賀C、北下浦A同点ジャンケン)
クイズ	長沢C 60点(田浦A、大津A、 不入斗A、浦賀C、武山A同点ジャンケン)
ラリー時間	北下浦B 5秒差 (平均1時間42分25秒に 最も近いタイム)
特別賞	スカ4回以上の生徒5人、武山A・B(織田 会長誕生日6・11で総合6位&11位)

▶ポスター賞受賞の亀崎莉桜さん
みんなにとって馴染みがあると思いき、この場所を選びました。岩のゴツゴツした質感を描くのに苦労しましたが、楽しかったです。(野比中学校1年)



▲田浦中による選手宣誓



▲北下浦海岸「探せ!」

▶さすが地元、優勝した北下浦中Bチーム



点を競う。ス力は何

3年ぶりの開催は、小春日和のような暖かい朝だった。田浦中の女子生徒4人による選手宣誓後、順番に30秒間隔でスタート。地の利を活かした? 北下浦中Bが222得点を獲得し、総合優勝に輝いた。

度も走って取りに戻る。8回もス力を引いた生徒がいたが、閉会式では会長特別賞を獲得した。「気持ちにはメゲたけど最後までもらえて良かったです」と満面に笑みを浮かべていた。

その後、長沢公園への急な坂道、階段を登り北下浦中ゴールへ。若者らしい健脚ぶりを十二分に発揮した。その難所? には「最後はキツかったけど、無事にゴールできて良かった」。自ら全コースを引率したある中学校校長は「1万2000歩くらいですかね。生徒と一緒に良い汗をかきました」と、脚のストレッチをしながら満足げに話した。



最初は北下浦海岸砂浜で「探せ!」(宝探し)ゲーム。20〜30メートル先のガチャガチャを取りに行く。中には1〜5の数字&スカの紙があり、4人の合計得点を競う。ス力は何

最後のチェックポイントは万代会館でのクイズ。別邸として所有していた万代順四郎氏(元ソニー会長)にまつわる問題は、施設の案内板に答えがあった。

(久里浜・狩野昭夫)

地元の利V 北下浦中B

◆12月11日◆北下浦中学校区周辺地域◆参加者16校117人(引率26人)ほか津久井浜高等学校生ボランティア9人◆主催横須賀市青少年育成推進員連絡協議会



▲長沢村岡公園「飛べ!中縄跳び」



▲長沢村岡公園「つなげ」



▲万代会館



▲同点ジャンケン

島智子さんに感謝状

県青少年

青少年指導員活動事例
発表は、三浦市と葉山、

青少年指導員に感謝状が贈呈。

●横須賀市の為廣哲朗さん(田浦中学校区II写真右)と高島智子さん(衣笠中学校区II同左)を含む県下7地区86人の

●オープニングセレモニーは、横須賀市消防団音楽隊の「そのすべり」、「北国の春」、「ハロー」などの軽やかな楽しい演奏。

●11月27日神奈川県青少年指導員大会が横須賀市の県立保健福祉大学で3年ぶりに開催(オンライン参加可)。

「生きるって、なに」明日への確かな一歩をこどもたちとともに!



活動体験発表会

2月11日・青少年会館

中尾洋子研修研究部会長の開会の言葉、織田俊美会長、来賓の挨拶があり、3中学校区による過去を含めた活動体験の発表があった。

●馬堀中学校区 「馬堀中学校区の魅力」区内3小学校の特徴に続き、ふれあい祭りなど活動報告。

●常葉中学校区 「コロナ禍での活動変化と今後の展望」横須

湘南鷹取音楽祭

11月5日、町内の広場で、お祭り実行委員会・鷹取中学校区青少年育成活動地域連絡会共催で実施しました。3回目となった今年は、お菓子釣り・ストラックアウトでスタンプラリー形式の出店巡りなど盛りだくさん。お囃子や地元のバンド演奏で夕方まで盛り上がり、みこしや獅子舞も威勢よく周りました。スタンプリカードを大事そうに握りしめ、景品を受け取る時の嬉しそうなお子どもたちの表情



が一番印象に残りました。3年ぶりのお祭りの歓声や雰囲気は感無量。「開催できて本当に良かった」の一言に尽きます。そして二番はしゃいでいたのは我々おとなだったかもしれません。(鷹取・大西 恭子)



●鴨居中学校区 「心豊かな「かもいの子」を育む地域の力」自然、歴史、教育環境、地

域の行事など紹介。スポーツ大会など子どもたちの活躍を見守り、応援する。

●講演会 七里が丘こども若者支援研究所主宰の滝田衛氏(写真)による「子どもの権利条約や今時の子どもたち」滝田氏は元NPO法人アンガージュマン。よこすか理事で不登校、ひきこもり対応の具体例紹介、統計数字を引用しながら学び・育ちへの伴走を強調。権利義務の義務は、親と先生が教育を保障すること、が印象に残った。(久里浜・狩野昭夫)

小学校自転車教室

11月12日、鷹取中学校区青少年育成活動地域連絡会主催で、防犯対策委員会、鷹取小学校PTA会長、PTA郊外委員会、田浦警察交通課、神奈川県交通安全教育隊のご協力のもと、鷹取小学校の校庭に模擬コースを作り、実施しました。まず最初は教室でDVD「交通安全教育ビデオ基本編」でルールを学んでももらいました。「自転車に乗って、横断歩道に來たらどうする?」

などの質問も用意されていて子どもたちが飽きないよう工夫されています。

その間に地元の亀井輪業さんの点検後、いよいよ模擬コース(横断歩道、交差点、見通しの悪いポイント、8の字、直線など)を走行してもらいました。まだ乗り方もどこかきこちない低学年がほとんどで、今年は11人とかかなり少なかったです。逆に行き交わすコースを走行してもらい、警察からはしっかり指導ができて良かったとのことでした。(鷹取・大西 恭子)

正月飾りと郷土料理を作る

11月26日に3年ぶりに大楠中学校で開催しました。郷土料理である「へらへら団子」作りは感染を考えると今年は中止。「ワラで編んだ正月飾り作り」を小中学生、保護者、講師となる地域



高橋 衣笠 先生 為廣哲朗さん
指導員
横須賀大会

◀町が地域色豊かな活動を紹介。
●講演「生きるって、なに？」

旅人・エッセイストのたかのてるこさん(写真)「世界中の人と仲良くなれる」と信じ、7大陸70カ国を歩きまわった経験・体験から異文化を学び、考えたことを次々と身振り、手振り、踊り付で熱弁。英語がしゃべれなくても大丈夫。みな同じ人間、心は通じ合う……。

そして今、コロナ禍で追い詰められ、自殺者が増えている。死ぬほどつらい思いをしている人たちに、「自分いじめ」をせず「逃げていい。頼ることをためらわない。心配を消すたった一つの方法は、行動すること」。

●感想

今を大切に生きたい！今の生活を大切に暮らしたい。

嫌なことから逃げちゃおう。ストレスから逃げちゃおう！

(田浦・杉田恵子 / 鴨居・濱口幸治)



秋祭りに参加して

11月19日岩戸小学校グラウンド

で、各町内会、PTA、子ども会、太鼓の会、踊りの会などの中、私たち推進員も加わり、秋祭りの開催となりました。個々にテントを張り、それぞれに催し物が行われ、私たちは糸の先に磁石を付けた釣り竿で袋詰にしたお菓子やバルーン釣りをしました。当日は秋晴れ朝早くからテントを張り登り旗を立て、花飾りをして、子ども用プールの中にお菓子やバルーンを入れ、準備オッケー。開催されるとすべ、お父さんお母さんに付き添われた子どもたちが列をなし、ライオンやキリンのバルーンを見て、これが欲しい。と言いながら、おとなも子どもも笑顔で喜ぶ姿を見ていると、来年もこのようなイベントができればいいなあと思いました。

(岩戸・飯田 功)



地域ふれあいフェスティバル



11月26日久里浜みんなの家で行いました。本来は万華鏡の工作教室なのですが、3年連続でキットの配布だけになってしまいました。地域の神明・明浜・久里浜各小学校の教室にチラシを貼ってもらい、町内にもお願

いしてもらい、町内にもお願

青少年育成スポーツ大会2022

12月10日鴨居中学校で3年ぶりの開催。約200人の参加者を迎え「ストラックアウト」と「ウエスタンターゲット」を実施した。小学生はおとなの半分

の距離から、プロ野球の投手並みに？ 全力投球して、当たったら大喜び。

いをしました。ご褒美のお菓子和ジュースも用意して準備は万端。

天候はあいにくの雨模様、しかも雷がゴロゴロ。誰も来ないのではと、不安がよぎりま

す。実は数年前に台風に見舞われて、参加者ゼロを経験しています。出足は遅かったものの兄弟で来たり、お母さんと来たりと、子どもたちが集まってきました。キットとお菓子を手にした時の笑顔を見ることができてほっとしました。エコバッグ持参の子どももいて、さすが今どきの子と感心する場面もありました。配布数は15セットほどでしたが、来年は工作教室を開催したいと、話しながら終了しました。

(神明・岡田安司)

軟式野球鴨居ドルフィンスのバックネットを借りて安全対策



の諸先輩方、そしてスタッフなど合わせて100人あまりで楽しく行いました。

しめ縄や輪飾りをつくり、伝統にふれ、世代を超えた交流をはかるという目的どおりの良いイベントとなりました。

子どももおとなも楽しそうに時間を忘れてつくっていました。特に講師の方たちの生き生きとした顔が印象的でした。

今年は雨のため武道場で開催しましたが、来年は晴れた秋空の下、みんなでつくったへらへら団子を食べることができれば良いと思いました。

(大楠・根岸一康)

もばっちり。高得点賞品にカップ麺300食を用意。袋いっぱいカップ麺をお持ち帰りする家族連れもいました。

その他、けん玉教室指導員のけん玉パフォーマンスや、非行防止ポスターの作品展示を実施し、数多くの人に楽しんでいただきました。

(鴨居・今橋博行)

2022わんぱくフェスティバル

11月13日(日) 県立保健福祉大学で開催された。好天に恵まれ、一般来場者1026人(関係者を含め合計1688人)が3年ぶりに秋の大イベントを楽しんだ。コロナ禍ということもあり食べ物販売はなかったが、子どもたちには笑顔がはじけていた。

講堂棟のキッズダンス団体引率者は「こんなに立派な舞台は初めて。でも子どもたちにはス

よこすか育成通信



横須賀市
青少年育成推進員
Webサイト

発行者：横須賀市青少年育成推進員連絡協議会
会長：織田 俊美
住所：〒238-0016 横須賀市深田台37番地(横須賀市立青少年会館内)
横須賀市役所民生局福祉こども部子育て支援課 TEL.046-824-5377

お祭り広場に長蛇の列



マイル、スマイルでど。みんな緊張しないで踊っていました。ホッとした表情を見せていた。体育館で体験したバルーンアートを手にした子は「けん玉紙飛行機づくりも楽しかった」と目を輝かせた。

教育研究棟のおまつり広場、各団体の体験には長蛇の列。それでも千本くじ、射的などに何回もチャレンジする子がいた。次回へ向け動線を含め一考の余地がありそう。

家族での来場者が多く、このイベントはどこで知ったのか聞いたところ「学校でチラシを見た」「タウンニュースの記事」「街中の広報で」「知人に聞いて」と千差万別だった。

反省点は多々あったが、終了後に雨が降り出したのは皆さんの心がけの賜物でしょうか。

(久里浜・狩野昭夫)

非行防止キャンペーン



11月19日、横須賀中央駅のYデッキで行いました。

青少年育成推進員連絡協議会(環境研究部会のメンバーと会長、副会長)に加え、保護司、横須賀市福祉こども部子育て支援課にも参加いただき、総勢23人でのキャンペーンとなりました。

天気の良い昼下がりの街に、拡声器から声が響きます。「困った事、相談事があったら警察やおとなに相談しましょう。おとなはあなたたちを見守っています！」先日中学生たちが描いてくれた『非行防止キャンペーンポスター』を手に、道行く人たちに時間いっぱいまで声をかけキャンペーン活動を行いました。

歩きながら作品を見てくれる人、足を止めてじっくりの見てく

ゆうやけこやけ

私は野比白髭神社の総代をしています。毎月1日に御開帳し境内の清掃をします。昨年は祈年祭と新嘗祭は行われましたが、神社神輿を担ぐ祭りはコロナの関係で中止となりました。今年の正月は神社本庁のコロナ対策で、手水鉢(ちょうずばち)のひしゃくと鈴緒(すずのお)は外して行われました。正月三が日はみかんと甘酒、お神酒が振る舞われます。

私はおみくじ、お守り、破魔矢の販売を担当しました。暖かい三が日で4100人の参拝者が訪れました。新年深夜に中学生や高校生の数人の友だちどうし数組がきていました。スマホで簡単に連絡が取れるからでしょうか。そのほかの時間帯は家族連れが笑顔で途切れなく訪れ、この行事が続くことを願っています。ただ神事に携わる後継者がいないのが気がかりです。(T.N)

れる人などさまざまでしたが、無関心にスルーしてしまう人が多かったのも事実です。

そういう状況を見ると、この活動に疑問を持つ人がいるかもしれないと思いますが、私はそうは思いません。おとなの中には、話を聞いてくれる人がいる、相談にのってくれる人がいる、そういう組織や団体がある、そう感じてくれた人が一人でもいたらこのキャンペーンは成功といえるのではないのでしょうか。これからも、思いがある人たちが少しずつ種を蒔いていってほしいと思います。

(野比・佐藤 竜也 / 不入斗・亀梨 淳)

●田浦青少年自然の家 今年3月いっぱいまで廃止になった。

編 集 後 記

コロナ禍において、前後期合併号を2年続けましたが、今年度は通常の年2回発行を目指すことにしました。前期号は作業のペースがつかめず発行を遅らせてしまったことで、今回は短納期となりましたが何とか間に合いました。「やればできる!」ですね。(宮川 功)

12月3日ジュニアリーダー仲間でお別れキャンプを実施した。

●おっぱまナイトバザール 非行防止に因んだ中学生作成ポスター24枚を展示。ティッシュとチラシを配布して青少年育成に理解を求めた。